

第298回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成25年5月27日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
碓井 真史	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役会長	前川 磐
代表取締役社長	室川 治久
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
取締役（報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之
制作部長	小木 裕介
合評番組プロデューサー	大橋 義宏

事務局 紫竹 聡子 水野 明子

4 議 題

1) 番組合評

「世界に刻め！グランセナ魂

～ジュニア国際大会の軌跡 in スペイン～

〔放送：平成 25 年 4 月 27 日（土） 10:00～10:30 放送〕

（説明：番組プロデューサー大橋 義宏）

2) 会社報告

- ・4月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ・定例の報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は、新潟市のフットボールクラブ「グランセナ・フットボールクラブ」に在籍する11歳以下の小学生選手が、スペインで開催された国際交流試合に遠征したのを密着取材したドキュメント番組であることが説明された。国際交流試合『MIC2013』国際大会コンソレーショントーナメントとは、地元バルセロナFCやマンチェスターユナイテッドなどのビッグクラブが、世界中から集まるハイレベルな大会で、テクニック、チームワーク、全てが「世界レベル」の選手たちに、新潟の選手たちが挑む。「世界」を体感しながら、日々成長していく選手たち。スペインで何を感じ、そしてどう“変わった”のか。世界へ新たな一歩を踏み出したジュニア選手のスペ

イン遠征 9 日間を完全密着取材し、子供たちの表情の変化を通して、心の「成長」を伝えるという番組内容が説明された。

●子供達の表情が、よく伝わってきて、元気がもらえる、楽しい番組だった。ジュニアの今後が楽しみに感じた。

●サッカーがよくわからない視聴者にとって、どんな大会だったのか、大会のしくみや、どのくらい注目度が高い大会だったのか、チームの目指すもの、どんな子供達が参加しているのか等、分かりづらい部分もあり、もっとわかりやすく伝える工夫が欲しかった。

●チームの立ち位置や、普段のチームの様子、試合のしくみなど、もっと解説が欲しかった。

●全体的に、時系列での記録的な描き方で、指導者や選手の思いに感情移入できる部分が増えると良かった。番組の構成にもう一工夫あっても良かった。

●子供を見守る指導者の言葉に興味を持った。

●大会関係者への取材、スペインの紹介などもあり、豊富な取材は、番組の価値を高めていると感じた。

●上位リーグの試合結果や、大会の全容をもっと知りたかった。

●帰国後の選手の日常の姿を見せてもらえると、子供たちの成長ぶりを知ることができると感じた。

●負けても悔しがらない子供達、感情表現を押さえる子供達が多い昨今、批判する事は簡単だが、指導者の大人たちが、うまく働きかけ、いい状況を作ることによって子供達の心が燃えるということを感じさせてくれた。

●子供達中心にチームを進めていたのが良かった。大人のコメントが少なく、子供達中心に全体のストーリーが構築されていたのは、見ていて清々しく良かった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

4月…… 173件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成25年4月22日)から昨日(平成25年5月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第297回審議会では

「新潟一番サンデー」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

8 今回の第298回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を

掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 4月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 4月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（4/23、5/3、5/13号）

以上